

日本の気候

日本は、南北に細長く、まん中に高い山脈が連なっています。そのため、同じ季節でも、地域ちいきによって、気候が大きくちがいます。また、多くの地域ちいきでは、春・夏・秋・冬の四つの季節の変化がはっきりしています。

冬になると、大陸のほうから、つめたい北西の季節風がふいてきます。この風は、日本海をわたる間に、海から水蒸気すいじょうきをたつぷりふくみます。そして、日本の山脈にぶつかる、上へのぼって雲をつくり、日本海側に、たくさんすいじょうきの雪をふらせします。

山脈をこえた風は、すでに水蒸気を落としてしまっているのです。そのため、冬の太平洋側では、晴れの日が多くなるのです。

反対に、夏には、太平洋のほうから、しめった南東の季節風がふいてきます。そのため、夏の太平洋側では、雨が多くなります。

日本海側の雪は、春になるととけて、豊かな水となり、田畑をうるおします。このように、季節風と山脈が、日本の気候に大きな影響をあたえているのです。

冬に大陸のほうからふいてくる季節風は、どちらからふきますか

ア
北西

イ
南東

ウ
南西

2 冬の日本海側に、たくさん雪がふるのはどうしてですか

3 冬の太平洋側で多いのは、どんな天気の日ですか。

の
日

4 この文章で、日本の気候に大きな影響をあたえているとされているものは、季節風と何ですか。

季節風と
